



# キク編

## 病害虫注意報 2024年6月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

**白さび病・害虫注意！** 5月に引き続き、白さび病の発生しやすい季節です。循環扇、モヤコン等を活用して空気の対流と湿度を下げる環境づくりを徹底していきましょう！  
また気温の上昇に伴いアザミウマ類、ハダニ類の害虫の発生も増加します。注意していきましょう！



### 症状

### 多発条件

### 対策

- 葉裏に白い隆起した斑点が発生する、など
- 多湿（湿度90%以上）や水滴の付着。
- 梅雨時期と9～10月頃の冷涼（15～20℃）な時期。
- 暖房機などを稼働させてハウス内を除湿する。
- 循環扇を用いてハウス内の温度・湿度ムラは減らす。
- 土壌の排水性は良好にする。
- 発病株は伝染源になるため抜き取りや焼却、もしくは土中深くに埋める。

## 今月のおすすめローテーション



品種、栽培条件、混用する農薬・資材によって薬害が発生する可能性があります。ご注意ください。

時期	RAC	対象病害虫	薬剤名	使用量・希釈倍数	使用時期	回数
定植時	P02	白さび病	予 inochioキクツチャ粒剤	6～9kg/10a	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病	予 アントラコール顆粒水和剤	1,000～2,000倍	発病前～発病初期	6回
	23	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
消灯時	11	白さび病・褐斑病	予・治 メジャーフロアブル	2,000倍	発病初期	3回
	13	ミカンキイロアザミウマ ミナミキイロアザミウマ ハダニ類・オオバコガ等	コテツフロアブル	2,000倍	発生初期	2回
発蕾時	21A, 39	白さび病・アザミウマ類 アブラムシ類・ハモグリバエ類	予 ハチハチ乳剤	1,000倍	発病・発生初期	4回
	30	アザミウマ類・ハダニ類 オオバコガ・ハスモンヨトウ	グレーシア乳剤	2,000倍	発生初期	2回
破蕾時	3	白さび病・うどんこ病	予・治 アンビルフロアブル	1,000倍	発病初期	7回
	5	アザミウマ類・ハモグリバエ類 オオバコガ・イロクサギンウバ	ディアナSC※	2,500～5,000倍	発生初期	2回

※花き類・観葉植物(りんどうを除く)登録

## ネハルサン



4袋(60kg)/10a  
元肥施用時同時処理

定植時に

定植

ネハルサン  
効果は2か月

2か月後

白酢  
月/1～2回

生育期に

## 白酢



灌注時:100～300倍  
散布時:300～1,000倍

リン酸過剰圃場におすすめ体系

土に吸着されたリン酸を有機酸の効果で引き離し根に吸収されやすい状態にします。

※強酸性のため100倍より濃く希釈しないよう注意